

第301回 日本体育大学長距離競技会

【出場結果】

実施日 : 11月26日(土) 5000m 11月27日(日) 10000m

会場 : 日本体育大学健志台陸上競技場

出場者 : 小林 航央 関口 大樹

出場種目・出場者・リザルト

氏名	小林	関口
種目	5000m	10000m
組	26組目	6組目
タイム	13'52"39 (自己ベスト)	30'07"34 (入社後ベスト)
順位	21/35	21/28

【レポート】

11月下旬となり、トラックレースもいよいよシーズン終盤に差し掛かってきましたが、11月26～27日に開催された日本体育大学長距離競技会の5000mに小林、10000mに関口が出場しました。

初日に行われた5000mの最終組26組目に出場した小林は、今季体調不良や故障が重なり、予定していたレースに出場出来ていなかったため、5000mのレースに出場するのは今季初となりましたが、今回はしっかりと練習を積めており、自己ベスト更新を目標にレースに臨みました。



今季初の5000mで自己ベストの更新を狙う小林

外国人選手が多く出場する最終組のレースだけあって序盤から 1000mのラップが2分 40 秒を切るハイペースで進む中、小林は集団の後方でレースを進め、3000mを想定通りの8分 19 秒台で通過し、苦しくなる 3000~4000mも必死に粘り切り、得意のラスト 1000mでは次々と前方の選手を抜き去り、見事に自己ベストを更新する 13 分 52 秒台のタイムでゴールし、自身の持つ新電元記録を更新する快走を見せてくれました。



得意のラストパートで自己ベストを更新した小林

翌日に行われた 10000m には関口が出場しましたが、2週間前の 10000m のレースでは目標を大きく下回る 32 分台の不甲斐ないレースをしており、中盤以降の落ち込みをいかに抑えるか、課題を克服する走り为目标としてレースに臨みました。

レースがスタートすると、集団の最後尾に位置しながらも 5000m を 14 分 50 秒台で通過、6000m 過ぎには身体が固まり始めてペースが落ち始めたものの、課題の中盤以降をしっかりと粘り切り、落ち込みを最低限に留めて、入社後ベストとなる 30 分 7 秒台でゴールしました。



前回のレース課題を克服し、自身でペースを作る関口



入社後ベストを更新する走りを見せた関口



自己ベスト&新電元記録を更新した小林。おめでとう！！

【総 評】

今回のレースでは小林が狙い通りの自己ベスト更新、関口が2週間前の悔しさを晴らす入社後ベストと、出場した二人ともしっかりと結果を残してくれました。

この結果から、今季 10000m を走った 6 名の選手の平均タイムは 29 分 28 秒台となり、選手 8 名の少数精鋭チームではありますが、過去最高のチームレベルに達しています。

次戦は、小林が 12 月 3 日に日本体育大学長距離競技会の 10000m に出場を予定し、12 月 4 日には加藤と坪井が福岡国際マラソン、親崎が初マラソンとなる防府読売マラソンに挑戦する予定で、出場する選手達はそれぞれ積極的に自己ベストの更新を狙って攻めの走りに徹し、「新電元工業」を全国にアピールしてくれるものと確信しますので、引き続きまして皆様の温かいご声援を宜しくお願い致します。